

平成23年 8月10日
内閣府沖縄総合事務局開発建設部

記者発表資料

台風9号襲来における国管理ダムの運用について

平成23年8月4日から6日にかけて沖縄本島付近を通過した台風9号の影響により、沖縄本島北部を中心に記録的な大雨となりました。

漢那ダムにおいては、累計雨量682mm（8月4日14時～6日16時）を観測。また羽地ダムにおいても、累計雨量644mm（8月4日14時～6日17時）を観測し、ダムへ流れ込む水の量も毎秒約111m³（羽地ダム管理開始以降最大）を記録しました。

今回の大雨に伴い、福地ダム・漢那ダム・羽地ダム・大保ダムの4ダムにおいて、各ダムの設計上の治水容量（※1）を十分に活用し、下流河川に流す水の量を少なくするための防災操作（※2）を行うことにより河川の水位を低く抑えることができました。

また今回の大雨で大保ダムを除く7ダムが満水となりました。

※1 治水容量

大雨の時にダムに入ってくる水を一時的に溜めるダムの容量。

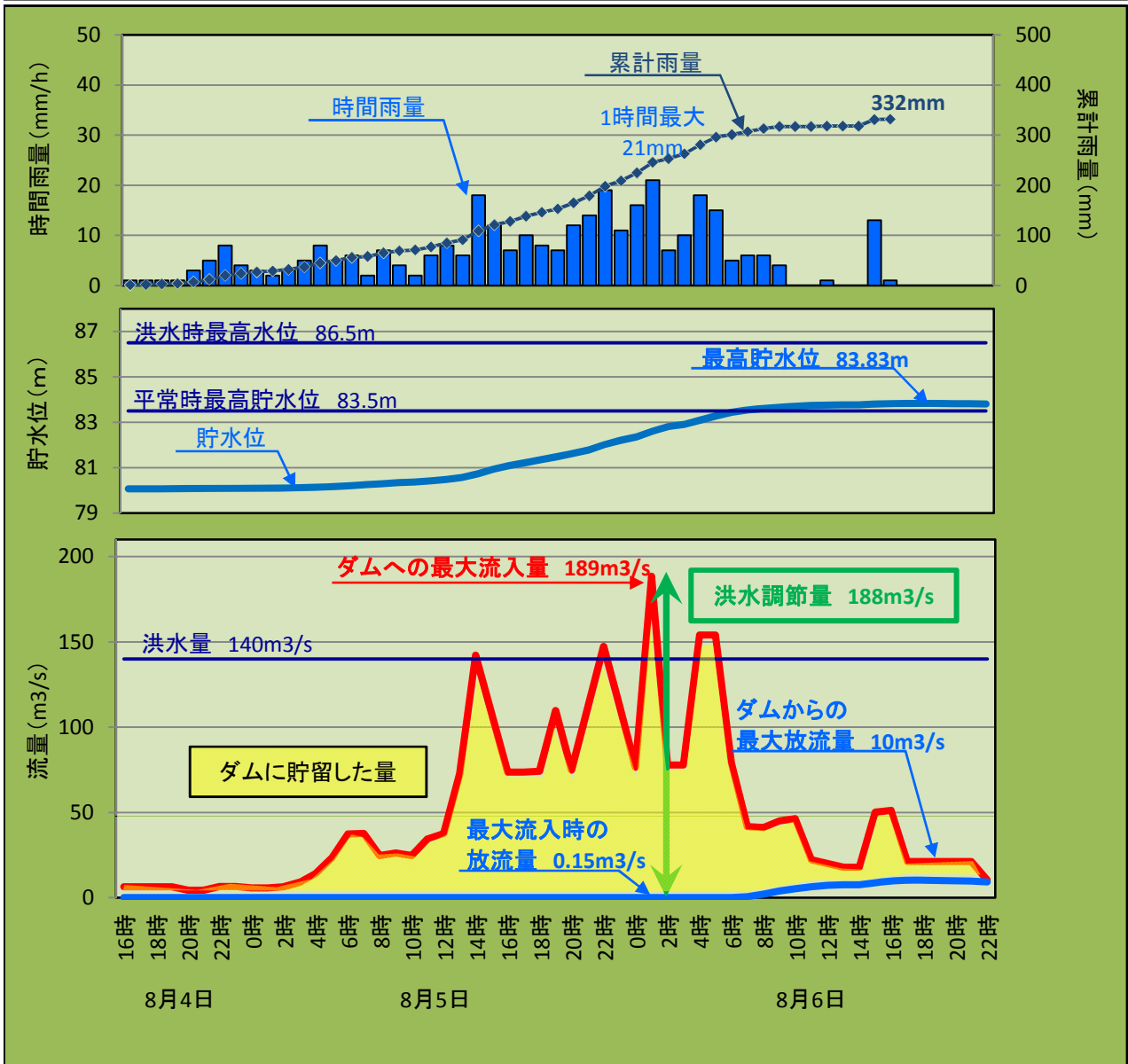
※2 防災操作

大雨などの際に流れ込む水をダムに一時的に溜めこむことでダムから下流へ流す水の量を減らし、下流河川の水位を低減させること。

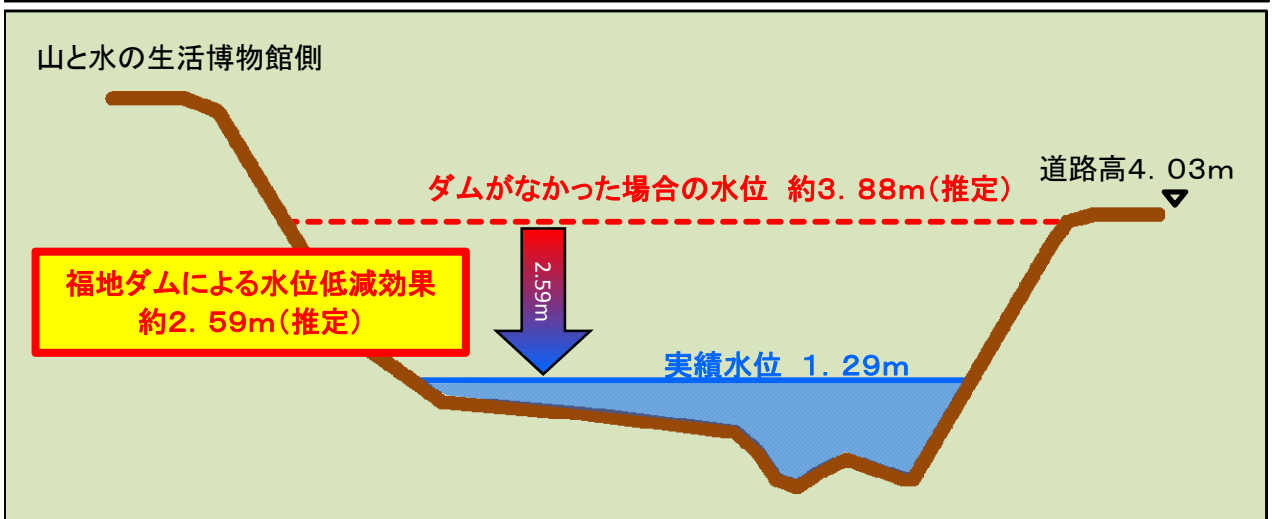
<本件に関する問い合わせ先>

内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 流域調整課
洪水・濁水予測専門官 安里 隆
電話番号 098-866-1913（直通）
北部ダム統合管理事務所
防災専門官 根間 秀昌
電話番号 0980-53-2442

今回の防災操作状況(福地ダム)

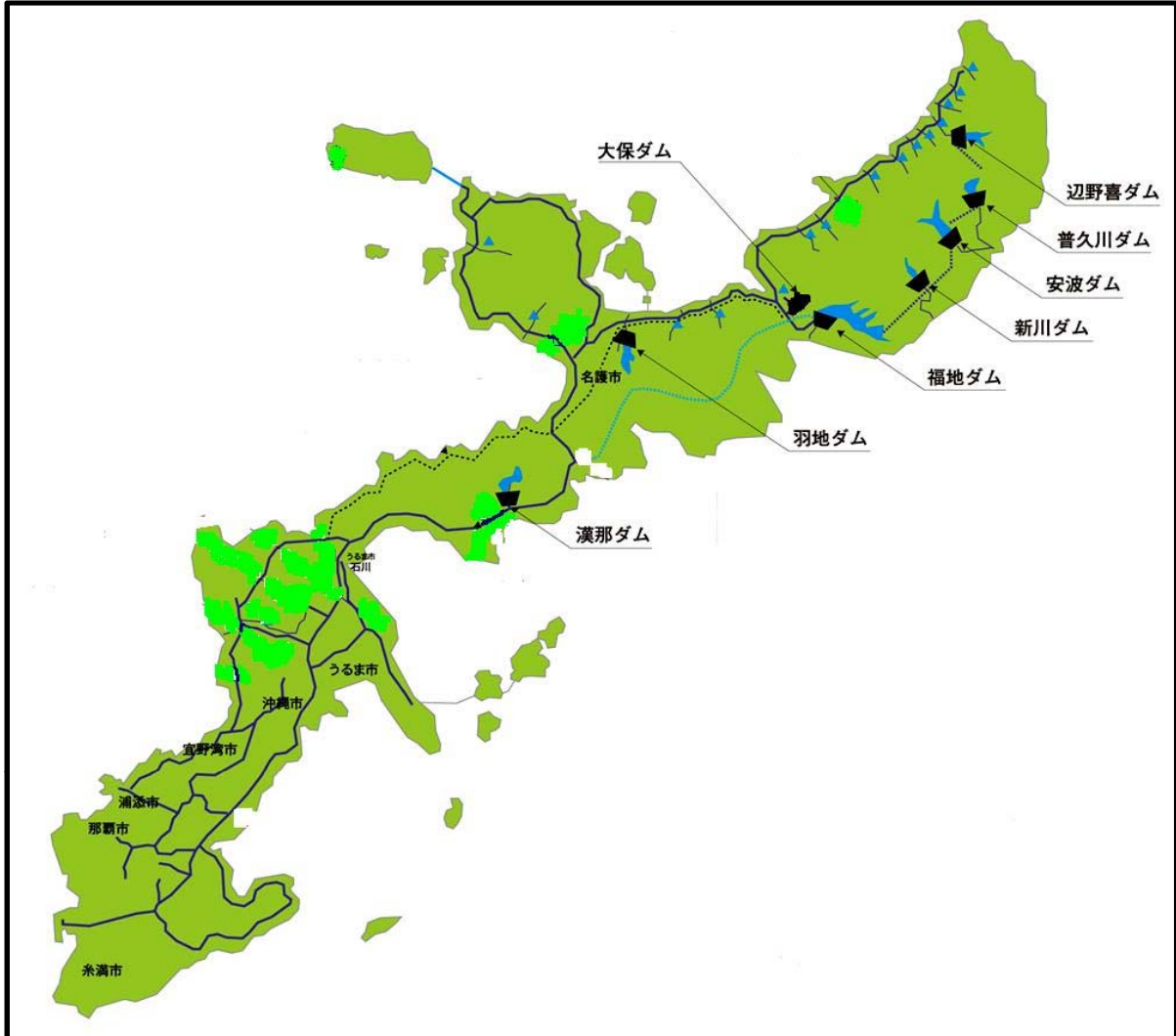


山と水の生活博物館付近(川田水位観測所地点)での水位低減効果



ダムの効果的な運用により下流河川の水位を大幅に低減させました。

国管理ダム位置図



平成23年4月から大保ダムの管理が開始され、8つのダムを国で管理しています。8つのダムで沖縄本島の約6割の水を供給しています。

沖縄総合事務局開発建設部では、
今後も適切なダム管理を行い、
治水及び利水の効果発現に努めて参ります。